

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月29日 (2008.5.29)

【公表番号】特表2003-530366(P2003-530366A)

【公表日】平成15年10月14日 (2003.10.14)

【出願番号】特願2001-574917(P2001-574917)

【国際特許分類】

C 0 7 C 43/21 (2006.01)

C 0 7 C 15/14 (2006.01)

C 0 7 C 43/205 (2006.01)

C 0 7 C 43/225 (2006.01)

C 0 7 C 50/30 (2006.01)

C 0 7 C 211/54 (2006.01)

C 0 7 D 493/22 (2006.01)

C 0 8 G 61/10 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 43/21

C 0 7 C 15/14

C 0 7 C 43/205 C

C 0 7 C 43/225 C

C 0 7 C 50/30

C 0 7 C 211/54

C 0 7 D 493/22

C 0 8 G 61/10

C 0 9 K 11/06 6 8 0

C 0 9 K 11/06 6 9 0

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月10日 (2008.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

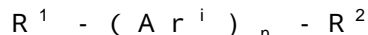
【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 オリゴマー性パラフェニレン化合物であって、式：



(式中

添字 n は、5 ~ 15 の整数であり；

添字 i は、1 ~ n の整数であって R<sup>1</sup> からの下流の位置を示し；

各々の Ar は、置換又は未置換アリール基であり；

R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は、各々、R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> が水素である対応する化合物の溶解性と比較して、非極性溶媒中でのパラフェニレン化合物の溶解性を増加させる置換基である。

但し、Ar<sup>i</sup> 基は、1, 4 - パラフェニレン様式で一緒に連結している。) を有する化合物。

【請求項 2】 n が 5 ~ 9 の整数である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】 前記  $\text{Ar}^i$  基が、未置換フェニレン及び 1 ~ 4 のフルオロ置換基を有するフェニレンから独立に選択される、請求項 1 記載の化合物。